



ソデイカ総菜の  
仲与志氏に融資  
沖縄公庫、5500万円  
沖縄振興開発金融公庫  
(川上好久理事長)は5日、  
沖縄特産品振興貸付を適用

して、みなとがわパヤオ鮮魚店(八重瀬町港川)の仲与志昌亮氏(写真左から2人目)に5500万円の融資を交付したと発表した。同鮮魚店は県内で水揚げされたソデイカの耳を原料としたオリジナル総菜「いちやいちゃ」を製造・販売している。売り上げ増に伴って現在の加工場が手狭になったため、融資を活用して新たな加工場を整備する。新工場は10月の稼働を目指すとしており、仲与志氏は「まだまだ商品の認知度が不足しているので、もっと営業して販路を拡大していきたい」と語った。



## 特産振興 5500万円融資 公庫「いちや いちや」製造で

沖縄振興開発金融公庫（川上 好久理事長）は5日、ソデイカを原料にした総菜「いちや いちや」を製造販売するみなとがわパヤオ鮮魚店（八重瀬町）の仲与志昌亮代表と写真左から2人目へ工場建設費用として5500万円を融

資したと発表した。

沖縄の地域資源を活用した製品を製造販売する者に低金利で融資する「沖縄特産品振興貸付」を適用、5月に融資を履行した。2016年度の同制度融資は8件で1億7千万円。

仲与志氏は「いちや いちや」を店の主力商品として製造を強化するため、町内に工場を新設し、10月から稼働する。生産量は約2倍に増える見込み。

公庫の担当者は「ニッチなビジネスチャンスを生かし付加価値をつけて商品化につなげた好事例」と評価。仲与志氏は「さらなる販路拡大に向け県内での認知度向上につなげたい」と意気込んだ。